

第1階層	【主語】		【述語】			【目的語】		
第2階層	[定語]	[中心語]	[状語]	[中心語]	[補語/ アスペクト助詞]	[定語]	[中心語]	[語気助動]
品詞	名詞 動詞 形容詞	名詞 代詞 (動詞) (形容詞)	(動詞) (形容詞) 副詞 時間を表す語	(名詞) 動詞 形容詞	(数詞)	名詞 動詞 形容詞	名詞 代詞  名詞フレーズ	
	動詞フレーズ 形容詞フレーズ			動詞フレーズ 形容詞フレーズ		動詞フレーズ 形容詞フレーズ		
	(名詞や代詞、 名詞フレーズを 修飾する。 修飾される語の 前に置かれる)	(文の主題を表 す)	(述語を修飾す る部分)	(主語に対する記 述部分)	(その動作、行為 、性質、状態など の補助説明)	(名詞や代詞、 名詞フレーズを 修飾する。 修飾される語の 前に置かれる)	(動作行為の対 象)	

<p>二重目的語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～に…を」という「間接目的語+直接目的語」の語順</li> </ul> <p>目的語の主題化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的語は、主題になると文頭に置かれることがある</li> </ul> <p>動詞句を目的語とする文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感情を表す動詞は「～することを」のような動詞句を目的語にできる</li> </ul> <p>動詞の重ね型</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞を重ねると、「ちょっと～する」「～してみる」という意味になる</li> </ul>	<p>状態の持続（～している）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「動詞+“着”」で、状態の持続を表す。否定形は「没」（有）+動詞+“着”</li> <li>“把”の構文</li> <li>・“把”によって目的語を動詞の前に置き、処置を強調する</li> </ul> <p>存現文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「場所（時間）+動詞+目的語」で動作の主体は目的語に来る。存在、出現、消失を表す回数（～回…した）、時間量（どれほどの時間…した）</li> <li>・動作の回数や時間量は動詞の後に置かれ、目的語はさらにその後に置かれる</li> </ul>
---	---